平成 24 年 10 月 9 日

＜各位＞

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長　中冨一郎
（４５７１　東証マザーズ）
取締役ＣＦＯ兼管理部長/社長室長 中塚琢磨
電話番号 ０３－３５４８－０２１７

# 分子標的薬ベルケイド®のＤＤＳ新薬に関する物質特許が日本国にて特許査定を受けました

当社が独自開発したベルケイド®（一般名ボルテゾミブ）の放出持続型注射薬に関する特許出願が、日本国特許庁から特許査定※を受けました。これにより、ボルテゾミブのミセル化新薬に関する物質特許を、日本国において確保できることになりました。

【発明の名称】　ボロン酸化合物を含有したブロック共重合体を含む医薬組成物
【出願番号】　特願２０１２－５２５７７４
【特許権者】　ナノキャリア株式会社

本発明は、ボルテゾミブに対する高分子ミセルの化学構造を工夫することにより、従来では困難であった、ボルテゾミブの持続的かつ自在な血中濃度の放出制御を可能にするものです。

ベルケイド®は、武田薬品工業株式会社の 100%子会社である米国ミレニアム社が創製し、ジョンソン＆ジョンソングループと共同開発している多発性骨髄腫治療薬で、細胞内のプロテアソームという酵素の働きを抑える新しいタイプの抗がん剤です。ベルケイド®は 2003 年に米国で承認されて以来、既に世界 90 カ国以上で承認されており、全世界での売上高は 1,458 億円（2010 年度、武田薬品工業/ジョンソン＆ジョンソン）、国内でも売上高 80 億円（2010 年度、ヤンセンファーマ）と年々拡大している、世界的に期待される画期的な分子標的抗がん薬です。但し、薬物の血液内消失速度が速いため、患者さんには、１週間に２回の注射治療が一般的で、頻回の通院を必要とし、末梢神経障害等の副作用が報告されています。

本発明によるボルテゾミブのミセル化新薬は、薬物の血中濃度をコントロールしながら長期にわたり持続させるため、上述の副作用を軽減し、投与や通院回数の減少を可能とする優れた製剤になることが期待されます。また、本ミセル化新薬の開発により、ボルテゾミブの治療域を広げることで、これまでの適応症である多発性骨髄腫以外の固形がんに対する治療薬となり得る可能性を持ち、広範囲で画期的ながん治療薬を提供できるものと期待されます。

今後はボルテゾミブミセルを当社の新規開発パイプラインに追加し、NC-6004、NC-4016、NC-6300 などの自社開発重要パイプラインに続く、重要な戦略品目として、さらなる最適化を含め研究開発および事業開発活動を促進致します。

尚、本件による平成 25 年３月期業績への影響はございません。

※特許査定
特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定の後に特許料を支払うことによって、特許権が発生することになります。

以上